

卒園式も終わり、新年度がスタートします！



## 明るく楽しく逞しい 円福寺愛育園

園長 藤本光世

新年度が始まりました。

児童はそれぞれ入学または進級しました。愛育園でも始業式をして、新任の先生を紹介し、担当児童を発表しました。

子どもたちにとって、担当の先生は最大関心事項です。発表の前に、手を合わせてお祈りしている児童もいましたよ。

担当の先生の前に、児童が進んで「よろしくお願いします」の挨拶をします。そして握手をして記念写真です。一番お世話になるのが担当の先生です。新年度準備や学校のさまざまな対応などのいろいろな関わりの中で、人間関係を作っていくって欲しいと願っています。

今年度の円福寺愛育園はどんな一年になるでしょう。先ず、昨年度に良かったことを書きましょう。

### 1. 集団でたくさん遊ぶようになった。子どもたちが仲良くなった。

休日の子どもたちは、外に遊びに行きます。千曲川の堤防は自転車専用ツーリングコースとなっていますから、ここを通過して自転車集団で八幡原（武田上杉決戦場）や山崎公園に行くのも安全です。公園で鬼ごっこをしたり、サッカーをしたり、野球をしたり、あるいは山や川へ行って、魚を捕まえたり、沢ガニを捕まえたり、トカゲを捕まえたり、子どもたちは外遊びや自然が大好きでとっても活発です。そして仲が良いです。

捕まえて来た魚や沢ガニは談話室の大きな水槽で飼って、毎朝子どもたちが楽しみに見えています。もう、半年以上も生きている魚がいます。

トカゲは、自分のものを飼育し、餌（昆虫）をとって食べさせたり、卵を産ませたり、てのひらに載せたり、子どもたちは大好きです。かわいがっています。自分のトカゲは分かるんでしょうね。

昨年度は赤い羽根共同募金会から、ワゴン車を1台寄付していただくことができ、7人乗り公用車が4台になりました。みんなで遠くへ行くことができます。自然の中で子どもが集団でたくさん遊ぶのは、昔の子どもたちがやっていた心の健康増進です。だから、子ども

たちはSNSはやりません。ゲームもやりません。心身ともに本当に健康的だと思います。その中で、心を浄化し、集団の楽しさを満喫しています。とっても嬉しいことです。この裏には、いつも子どもたちと共にあり、子どもたちと一緒に遊び、一緒に山や川や公園へ連れて行ってくださっている先生方がいます。有難いです。

### 2. 一年間の行事がほぼ確立された

5月の善光寺ウォーキング、7月の臨海行事、9月の運動会、10月の愛育園祭、11月の大本山参籠、12月のクリスマス会、1月または2月の箸技大会と箸リンピック、2月のスキー行事、3月の卒園式と、年間10の行事が確立しました。

子どもたちも職員も行事を通して人間関係を作り、行事を通して成長します。前年以上の行事にしようと、みんなでがんばります。本当にその通りになります。昨年はどの行事も好天に恵まれました。今年もそうなるの良いなあ。

昨年度の卒園・進級お祝い夕食会で、一年間で良かった行事のアンケート調査の発表がありました。1位はスキー行事。子どもたちは本当に楽しかったんだ。帰りの車中で来年は一泊にして！と大勢の子どもたちから頼まれました。どうしようかなあ。

キャンプや愛育園祭は上位に入りましたが、なんと大本山總持寺参籠が上位に入ったのには驚きました。衆寮での坐禅や百間廊下の雑巾がけが、子どもたちにとってはとっても良かったのですね。花和老師さま、ありがとうございました。

## 本山だよりー鶴見点描ー

大本山總持寺布教教化部

出版室発行

『跳龍 一月号』より

ところで、昨年の十一月本山で児童養護施設である長野県円福寺愛育園の参籠会が一泊二日で行われました。

参籠会の実施が決まったとき、私は受け入れる側として「さまざまな事情で、親元から離れて集団生活をしている子どもたちの想いをどう受け止めていったらいいのだろう」と少し不安な気持ちになりました。

愛育園の子どもたちは小学生から高校生までの二十八人で、園長である藤本光世老師をはじめ十二人の施設職員さんに

伴われて本山にやってきました。最初子どもたちは緊張していて、とても静かな様子でしたが、二日目の作務の時間になると一転して、はつらつとした表情に変わりました。本山には直線で一六四メートルもある長廊下があります。みんなでここを雑巾がけすることになりました。

私は「小さな子どもたちにはとても無理だ」と思っていました。ところが、小さな子どもたちが、あの長い廊下を一気に雑巾がけしてしまっただけではありませんか。私は、たいへん驚きましたが、同時にとても頼もしく思えました。聞いてみると、愛育園では禅宗の目録に習って、毎日作務を行っているとのことでした。

辛い立場の子どもたちが、愛育園の慈悲の心に支えられ、たくましく生きていく姿をまのあたりにして、私は不安を感じるところか、とても嬉しくなっていました。

本誌『跳龍』におきましても、本山の諸行持が伝える仏法の悦びを、皆さま方と共有できればと願っております。どうか本年もよろしくお願い申し上げます。  
〔布教教化部参禅室長 花和浩明〕

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

意外だったのは運動会が下位だったこと。運動会は子どもたちが楽しんでいるように見えたのですけれどねー。

臨海行事で7月に捕ってきたたくさんの魚は全滅してしまいましたが、エビが1匹、カニが1匹、今でも海水槽の中で生きていて、その姿を見るのが楽しみです。1年間生き続けて欲しいです。

当園に措置される子は、何らかの課題を背負っているのがほとんどです。その課題を、さまざまな方法で修正・否定あるいは叱り矯正ではなくて、目を違うところに向けてしまう。その中で、心を育む。スマナサーラ長老が言うように、すべては心から生じるのであり、心は自分で変わろうとしない限り変わらないのであり、他人が変われと命令すると、ひどく反発するのです。変わったように見えても表面的で、本質は変わっていない。

自分で変わろうとするように、毎日の生活を健康に過ごし、毎回の行事に全力を傾ける。すると、課題など忘れてしまい。自然と課題を乗り越える力がつくのです。私はそう信じています。しかも、それはとっても楽しいことなのです。

この方針に愛育園の職員が、調理職員や庶務職員も含めて、全員が一致団結して心をそろえて前進してくださっていることに、感謝しています。今年も昨年以上に毎日の生活を充実させ、楽しくし、行事を創造し、前進いたしましょう。

愛育園の子どもたちに、そして愛育園の職員に幸いあれ。

## 令和4年度を終えて

主任指導員 富沢正樹

3月21日、「令和4年度 卒園式」が行われ、2名の男子児童が園を巣立っていきました。

1人は陸上自衛官に、もう1人は警察官を目指して専門学校に、それぞれの道に進みました。2人とも愛育園に長〜くいた子達で、私が主担当を務めていた事もあり非常に思い入れの強い子達です。毎年のことなのですが、卒園式を終えると、その瞬間からジワジワと達成感が込み上げきます。

卒園の時までに何とか力をつけてあげたいと、何年も前から将来をイメージして挑戦して(させて)、失敗して(させて)を繰り返して、徐々に力がついてきて、段々お互いが見据える将来がシンクロしてきて、さらに必要な心や力を地道につけていくのですが、卒園式の時は、いつもいつも「何とかギリギリ間に合った」という感覚で見送っているような気がします。そして同時に「子ども達の可能性は無限大だなあ」という事を実感します。また、そうやって社会に出ていった子達が3年5年と同じ環境でがんばり続けている話が本当に多く聞かれるようになって猛烈に喜びを感じます。

だから、普段は夢中で子どもと関わっているだけですが、卒園式が終わった後の時間だけは特

(令和5年4月10日発行 月刊「円福」511号付録)

別な感情が湧いてきます。数年前までは、ただただ出て行っちゃうのが寂しくて心配で大泣きしてしまっていたのですが、ここ数年はお互いに「やり切ったあ」という自信の方が上回って誇らしい気持ちで見送る事ができています。私も成長しているのだなあと感じます。

卒園していった子達が社会で活躍している事は、今いる子ども達にとっても大きな安心感になります。「自分達だって大丈夫」そういう力強い気持ちになれると思います。私たち職員も子ども達への養育の方向性が間違っていないんだと自信が持てます。そしてまた次の1年が始まって、その安心感や自信を胸に少しずつ子供も職員もホーム自体も成長していきます。この数年間を振りかえるとそんな感じがしています。このままずっと成長していきたいです。もっともっと将来幸せを感じられる子ども達を育てたいです。

みんな本当に日々の生活を頑張っています。それを絶対に無駄にしない様に私達職員は一生懸命子ども達の支えになっていきたいと思っています。

今回の2人もきっと社会で長く活躍できる人になってくれると思います。卒園式の言葉の中で「長く勤めていつか何か恩返しをしたいです」と言ってくれましたが、在園中にも沢山いい後ろ姿を見せて新たな道を切り拓いてくれたし、長く勤めてくれたらそれだけで恩返しだよと言ってあげたいです。

令和4年度を終え、今このような事を感じています。新年度が既に始まっており、また1年、子ども達と心を重ねていながら、日々頑張っていきたいと思っていますので、よろしく願います。

## 卒園式

主任保育士 石崎早織

3月21日は令和4年度円福寺愛育園の卒園式が行われました。お忙しい中お越しくくださった役員の皆様ありがとうございました。たくさんの方々に見守られK君とN君の卒園を祝うことができました。

子どもたちにとっても卒園式は特別な行事でもあります。1年の締めくくりの行事になるので良い卒園式になるよう、まごころホームでは合唱練習に力を入れ3月に入ってからすぐに練習を始めました。また式当日のステージの壁面や看板、式次第もまごころホームで担当しました。ステージバックは竹内先生がどんなデザインにするか考えてくれ、桜らをモチーフにしたものを作ることになりました。お花紙で花をたくさん作る作業があり、これが一番大変な作業でしたが、





高校生が率先してやってくれました。500個以上は作ったと思いますが、想像以上にとても素敵なステージバックを作ることができました。

きっとみんな卒園式の準備をしている時、いつか自分も卒園か・・・という気持ちになったと思います。自分が卒園を迎えた時やっぱりみんなの心のこもった式で見送られたいという気持ちもあるからこそ、一生懸命準備を頑張ってくれたんだと思います。



### 卒園式

あおぞらホーム 石龍成己

今年度も愛育園の卒業式が行われました。あおぞらホームから2名の子が卒園しました。二人とも園での生活が長く、大きくなるのをずっと見てきた分、本当に成長したなど感じながら式に参加してもらいました。N君は、中学生の頃は落ち着きがなく、少し声を掛けたら大きな声で返してきたり、学校では席に座ってられない事もありましたが、高校では全くそのようなこともなく、式でも立派にお別れの言葉を読めていました。K君も色々と職員の話に割って入ってくることもあり、自分で信じたことは曲げないので、対立構造になってしまうこともありましたが、K君も式に参加してみたら、しっかりと心に刺さる言葉を述べる事が出来ました。2人ともそれぞれ一人暮らしでも不安はあるかと思いますが、ぜひ愛育園での経験を活かし、新たな舞台で輝くことを期待したいと思います。N君、K君おめでとう！

### 卒園児童お別れの言葉

私は平成19年6月から約15年間、愛育園で生活してきました。

長年、愛育園で過ごす中で、思い出に残っている事が沢山あったり、いろんな面で成長する事ができたと感じています。

園の行事で言えば、私は体を動かすことが好きなので、キャンプや運動会などの行事を毎年とても楽しみにしていました。今年は最後の年だったので、思い切り楽しめる様にこれまで以上に準備や片付けを一生懸命頑張った、そのおかげで、良い思い出を作る事ができました。また、その他にも私は箸技大会も印象に残っています。毎年練習を頑張らずと連続でキング決定戦に出る事ができました。

できれば一回優勝したかったので、それだけは残念でした。

次に、私が日常生活の方で頑張ってきた事の話をしてみたいです。私は、とにかく規則正しい生活を心がけてきました。その中でも、小学校、中学校、高校も皆勤で通い続けられたことは大きな自信になっています。多少体調が悪くても、あまり好きではない授業でも休まず通いました。先日の俊英高校を無事に卒業できましたが、卒業式の中で、無遅刻、無早退、無欠席で皆勤賞の表彰をもらえることができ、学生生活の最後を良い形で終える事ができて本当に良かったです。そして、高校生活ではバドミントン部に入り3年間、一生懸命頑張りました。その中で多くの友人ができ、コミュニケーションの面でもかなり成長できたように思っています。

私は、春から専門学校に進み、昔からの目標である警察官の試験に合格できるように頑張っていきたいと思っています。

初めての一人暮らしで何かと不安な事がありますが、これまでやってきた生活の形を大切に一生懸命勉強していきたいと思っています。

あおぞらホームの皆さん、諸先生方、これまでたいへんお世話になりました。皆さんもそれぞれの目標に向かって頑張ってください。ありがとうございました。

(卒園生 K君)

僕は小学1年生の頃から11年間愛育園で生活してきました。11年間生活してきて思い出や印象に残っていることを話したいと思います。

まず、僕の思い出は行事です。行事といっても色々な行事がありましたが、その中の2つの行事の話したいと思います。

1つ目は運動会です。今年は赤組で最後の運動会だったので今まで以上に本気で頑張りました。短距離走やマラソンなど、全ての競技を全力で頑張りました。今年も勝てると思って頑張ったのですが惜しくも負けてしまいました。僕は小学校の運動会も、

愛育園でやった運動会を両方合わせても1、2回しか勝ったことがなかったので、最後は勝って終わりたいけど楽しくできたので良かったです。

2つ目はあおぞらのみんなで釣りに行ったことです。僕が高校に入学してからすぐにコロナで休校になってしまった時に初めて釣りに行きました。初めて自然の池で釣りをしたのですが、1匹も釣ることが出来ませんでした。ですが、釣れなかったけれどとても楽しくて、その後も何回もあおぞらのみんなで釣りに行きました。色々な池や湖に釣りに行って何回も釣りをしたけど、1匹も釣ることが出来ませんでした。ですが、人生で初めて自分の趣味ができたし、とても楽し



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

かったので良かったと思います。

そして印象に残っていることは、学校生活です。小学校から高校まで学校で勉強をしてきましたが、特に高校生活を一番頑張れたと思います。小、中学生の時に授業を受けずに教室から抜け出したり、教室にいても話をしていたり、ふざけていたりして真面目に勉強をしていませんでした。しかし、高校に入ってから、授業中ノートをとったり、話をしっかり聞いたり、普通にできて当たり前のことだけど、今までの学校生活に比べたら一番良かったと思うし、一番頑張れたと思います。テストの点数や成績も中学生の時より上がっていたので良かったです。

高校生活を頑張ったおかげで、自衛隊の試験にも受かることが出来ました。4月からは自衛隊に入隊します。自衛隊に行ったら、初めて経験することや厳しい訓練が多いと思います。ですが、すぐに諦めずに、長く自衛隊で生活できるように残りの生活を一生懸命頑張りたいと思います。

最後に今まで数えきれないほど迷惑かけてしまっても、最後まで生活をさせてもらった園長先生、問題を起こしてしまった時に一緒に謝罪をしてくれたり、一人でできない事を一緒に手伝ってくれた富沢先生、ふざけたことをしたときに注意してくれた石崎先生、無理な要求も聞いてくれて美味しいご飯を作ってくれた調理の先生、いつも反抗して嫌な気持ちになっても最後まで面倒を見てくれたあおぞらの先生、調子に乗り過ぎて嫌だと思ふこともあったと思うけど、最後まで一緒に生活してきたあおぞらのみんな本当にありがとうございました。多くの人に迷惑を掛けてしまったけど、最後まで愛育園で生活できて本当に良かったです。

自衛隊で頑張って、いつかお世話になった分を返したいです。

その日まで一生懸命頑張るので、みなさんも頑張ってください。11年間本当に楽しかったです。本当にありがとうございました。さようなら。

(卒園生 N 君)

#### 在園児童代表の挨拶

N くん、K くん、ご卒園おめでとうございます。

これからお二人との印象に残っている思い出を話したいと思います。

まず N 君とは小学生から中学生まで一緒に野球をやってきたので沢山の思い出があります。バッテリーを組んだこともあります。一緒にいる時間が長かったのもとても仲良くなれたと思っています。よく調子に乗りすぎて、二人で富沢先生に怒られたりする事もありましたが、それも僕にとって大事な思い出です。僕のつまらないギャグや話でもいつも大笑いしてくれてすごく嬉しかったです。

次に K 君です。K 君は行事等の準備や片付けで僕が何をしても良いかわからない時に優しく教えてくれたことが、僕にとっては心に残っています。また、僕は掃除や洗濯が苦手なのですが、K 君はいつも身の回りがきれいで、すごいなあと思っていました。

(令和 5 年 4 月 10 日発行 月刊「円福」511 号付録)

四月からは、何かと大変な事が多いと思いますが、辛い時は愛育園での思い出を思い出して頑張ってください。

僕も高校 3 年生になりますが、進路に向けて努力したいと思います。僕は防衛大学を受験して、N 君と同じように幹部自衛官を目指しています。ただ、今の所、目指しているだけで、僕は全然努力していません。僕は自分が卒園する時に後悔のない一年にしたいと思っているので、二人の良い所をマネして自分の生活を良くしていこうと思います

今日でお別れになってしまうのは寂しいですが、お互いの目標に向かって頑張っていきたいと思います。

今までありがとうございました。卒園おめでとうございます。

(在園生代表 H くん)

#### 卒業・進級お祝い夕食会

まごころホーム 倉石朱莉

3 月 11 日に卒業・進級お祝い夕食会がありました。まごころホームの小学生はデザートである、「チョコフォンデュ」をとても楽しみにしていたようで、夕食会が始まる前から「チョコフォンデュ、楽しみだな〜!!」と言っていました。

いざ夕食会となると、A くんは一目散に食事が並んでいるテーブルへ向かい、「あれ食べたい、これ食べたい」と言い、お皿に盛ってもらおうと、とても嬉しそうな表情をしていました。たくさん食べて、満腹になっていたようですが、「チョコフォンデュ」は別腹のようで、何度もおかわりをしに行っていました。

今回は、和・洋・中の料理がそろっており、子どもたちにとって、とても充実した夕食会となったのではないかと思います。

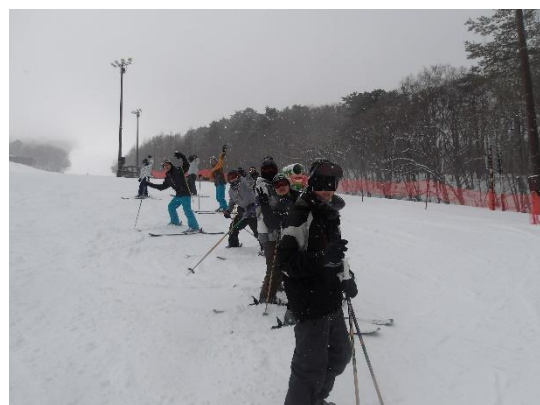


#### スキー行事

あおぞらホーム 山田忍

2 月 25 日、コロナの影響もあり 3 年ぶりにスキー教室がありました。行事が決まる前から子供たちに「スキーに行きたい」と言われていた為ホーム長にお伺いを立てたところ、今年に行くということで園長先生の了承もいただいている。との事でとてもうれしかったのを覚えています。そこからスキー行事に向けての準備が始まりました、準備を始めていくと「ここはこうした方が





いいかな」とか「ここを事前に準備しとけばスムーズだな」と次から次へと心配ごとが出てきて大変でした。今年はスノーボード初挑戦の子もいましたがすぐ諦めてしまう子、最後まで粘り強く頑張る子、とそれぞれの性格が前面に出ていました。

子どもたちもお昼そっちのけで滑りたがり夢中で滑って楽しそうにしている姿を見てこっちもとても楽しい気分になりました。年度末最後の行事でもあり、今まで皆の力で全ての行事を成功に導いてき

てここにきて事故やケガだけはないように、一番心配していましたが全員無事で帰って来れたことに、皆一人一人ケガしないように心がけていたからこそ無事に終わることが出来たんだな。とつくづく思いました。

### あおぞらホーム食

あおぞらホーム 石龍成己

今回のホーム食は、スパゲッティナポリタンと、ホットサンドを作りました。いつものスタイルですと、先に調理の動画を見て、イメージをつかんで作っていくという流れなのですが、今回のホーム食は山田 t がプレゼンツして下さり、なんと、動画も山田 t が実際に調理をしたものを録画して作って下さりました。動画視聴後は、完成度の高さに子どもたち全員が拍手していました。最初に作ったのはホットサンド。具材にはチーズ、卵、ハムを使いました。パンの上にチーズで卵ポケットを作り、そこに、卵を流し込み、さらにパンで挟んでホットサンドメーカーで焼きました。トロっと中から半熟卵が出てきて、とても美味しい出来に、みんな舌鼓を打ちました。そして次にナポリタン。玉ねぎ、ウィンナー、ピーマン、ニンニクをそれぞれ切り、オリーブオイルでそれぞれ炒め、その上に麺のゆで汁をかけ、ゆであがった麺とケチャップをからめ頂きました。小学生たちも一人ずつ炒める作業も行い、みんな美味しそうなナポリタンを作っていました。結構なボリュームではありましたが、自分で作ったものはやっぱり美味しいのかみんな完食できました。また次のホーム食では何を作れるのか待ち遠しいです。

### まごころホーム食

まごころホーム 遠藤あゆな

3月のホーム食は、ピザとスフレチーズケーキ。ピザ生地班とデザート班に分かれ、作業開始です。ピザ生地班を担当した私は、まず小学生と一緒に、薄力粉と強力粉を混ぜ水を入れてこねました。こね始めは水が上手く粉に混ざらず、大丈夫かな？と不安になっていた子どもたちでし

たが、力と思いを込め「美味しくな一れ！」とこねていくうちにお餅のようにもちもちとした生地が出来上がりました。小学1年生のA君は生地を丸く伸ばすのがとても上手で、「職人さんみたいだね！」と周りの子どもたちから言われ、得意げで嬉しそうなA君でした。トッピングは中高生に任せ、小学生チームは完成まで一休み。

完成したピザは、マルゲリータ、照り焼きチキン、明太チーズなど何種類もあり、どれから食べようか迷う子どもたちの目はキラキラしていました。みんなで作ったものをみんなで食べる喜びや嬉しさは普段の食事では味わえない素敵な体験でした。

### あおぞらホームだより

あおぞらホーム 藤原京平

季節は春となり、桜も見ごろとなりました。愛育園では、卒園式も終わり、新たに新年度がスタートしました。子どもたちも、進級進学と環境の変わる節目となります。ここから1年間、子どもたちが良い1年だったと思えるように職員として子どもたちをサポートしていきたいと思えます。

また春休み中は、公園に行ったり、サイクリングをしたり、野球をしたりと活発に楽しく生活してきました。もちろん遊んでいるだけではなく、学習や日々の生活もしっかりと行い、楽しむところと頑張るところメリハリをもって生活を送ることで、新たな年度のスタートを良いものにできたのではないかと思います。

### まごころホームだより

まごころホーム 牧聖加

日差しはやわらかさに春を感じる日々です。子どもたちは外で遊ぶ時間も増えてきました。公園や体育館などで思いきり走り回り、元気いっぱい過ごしています。

3月は後期試験があり、無事合格しました。新年度に向けての準備が着々と進み、子どもたちは期待に胸を膨らませています。もちろん不安に思うこともあると思いますが、進学・進級した先でも一生懸命に頑張ってもらいたいと思います。

また、子どもたちは春休みに入りました。新年度への準備期間の休みという事もあり、休み中の課題も心なしか多く感じられますが、毎日の学習の時間にコツコツと取り組んでいます。学習の一つをとっても、集中力が長く続くようになっていたり、難しい問題も職員に聞いて頑張ってチャレンジしようとしたりと、子供たちの成長をひしひしと感じます。

昨年度は様々な行事があり、とても充実した一年となりました。今年度も日々の生活、様々な行事を通して子どもたちも職員もより成長できる一年になればと思います

## 調理室だより

調理員 川澄保美

3月に2名の子供が愛育園を卒園して巣立っていきました。それぞれ進む道は違いますが、愛育園で過ごした日々を忘れず頑張ってくださいと思います。3月はたくさんの誕生日メニューがありました。

### 3月2日 ひな祭りメニュー

押し寿司、あさりの潮汁、れんこんの炒り煮

### 3日 Rさんの誕生日メニュー

卵とじカツ丼、カリカリポテト、チョレギサラダ、フルーツタルト

### 6日 後期選抜応援メニュー

カツカレー、豆腐サラダ、いちご

### 11日 卒園・進級お祝い会

一味真さんの心こもったバイキング料理。皆で美味しくいただきました。

### 14日 卒園お祝いメニュー

ご飯、チーズインハンバーグ、ポテトサラダ、トッポギ、抹茶ケーキ

### 17日 A君の誕生日メニュー

味噌ラーメン、カリカリポテト、さけチーサラダ、ドラ焼き

### 18日 R君の誕生日メニュー

醤油ラーメン、焼き鳥、カミカミサラダ、**THE** スペシャルパフェ

### 19日 S君の誕生日メニュー

ガーリック牛丼、イカリング、カプレーゼ、チョコパイ

### 25日 園長先生お誕生日メニュー

手打ちそば、天ぷら、ほうれん草のおひたし、フルーツゼリー

